

映画に参加編

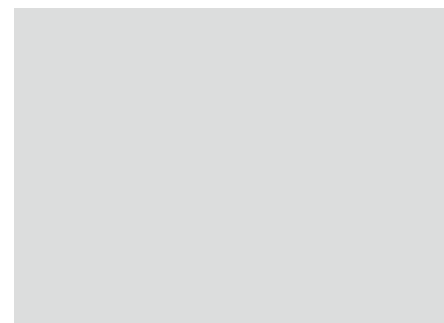
0. できることを増やす、スピカ名鑑にできることを書いていく

春の講習会や撮影に参加して撮影でできることを増やしていきましょう。講習会では撮影、録音、照明の初歩的な技術を学べます。ですが、実際の撮影ではもちろん俳優であったり、衣装やメイク、制作進行、スクリプトなど様々な役があったりなかったりします。なので講習会や本を読んで撮影に行くのもいいですが、とりあえず行ってみて手が足りなそうな役をその場で覚えるというやり方もいいと思います。特にやることがなかったら適当に暇そうな人と話しましょう。空気を和らげるのも大切な役割です。

またできることが具体的にあればスピカ名鑑にぜひ掲載してください。特に俳優ができる、興味があると言うことであれば積極的に書いてほしいです。監督がそこを参考にして人手が足りない時に直接お願いすることもあります。

1. ディスコードのチャンネルに入ってみる

次はディスコードのチャンネルに入ってみましょう。時期によってまちまちですが動いている撮影班のチャンネルが何個かあると思うので企画書を読んで面白そうとか仲いい人がいるとか同期が監督とかなんでもいいのでとりあえず入ってください。そうしたら撮影の日程が出てくるので自分が参加できる日に参加して見てください。どういふうな募集をかけてくるかは監督によりけりですが基本来ないでってことはないの積極的に参加してほしいです。



2. いざ撮影現場へ

日程や場所が決まったら現場へ行きます。監督によっては撮影前の準備や打ち合わせが前日や撮影直前にあるのでもしあればそこから参加しましょう。撮影がスタートしたら楽しみましょう。ちょっと緊張感もありつつ難しいシーンに挑む時の一体感とかはいい経験になります。現場での注意点は二つあって一つは動きやすい格好、身軽な荷物でくることです。いつでも移動できるように、また服装が撮影の妨げにならないようにしましょう。ヒールとか微妙かもです。もう一つはミスした時は正直に言いましょう。まあいっかと流したミスが後々再撮影やアフレコを産むことになりかねません。ミスして怒る人はいないと言っても過言ではないので安心していきましょう。また人のミスに気づいた時も積極的に聞いてあげてください。脆弱性と言うやつですね。

3. エンドロールに名前を

エンドロールに名前と役職を入れてもらいましょう。一回しか行ってないし、、、とか遠慮は無用です。

4. 打ち上げに参加

打ち上げに参加しましょう。それまでの撮影に区切りをつける意味でも、これからの撮影への布石と言う意味でも参加してほしいです。もし監督がやりたがらない場合は無言の圧力をかけるか優しくスルーしてあげてください。未成年飲酒、喫煙は厳禁です。勧められても断ってください。

